



令和5年度日本PTA全国協議会
国内研修事業 in 渡嘉敷村



私がこの日本PTA国内研修事業に参加したいと思ったのは、たくさんの人と関わってコミュニケーション能力を向上させるとともに、全員初対面という状況の中で、どのような振る舞いができるのか自分自身を試してみたいと思ったからです。また、沖縄の文化や魅力に触れて、感じて、私が住んでいる栃木県との違いを体験してみたかったからです。



特に印象深かったのは、海洋研修と国際交流プログラムでした。海洋研修ではシュノーケリングや大型カヌー、カヤックの体験をしました。沖縄の海に潜り、サンゴの美しさに感動しました。

また、沖縄の魅力は海だけでなく琉球王国時代から続いている伝統芸能や楽器などがあり、歴史がたくさん詰まっている素敵なおとこだと感じました。

国際交流プログラムでは、「幸せとは何か」という

テーマについて話し合いました。私たちの班では「幸せとは、みんな平等でみんな公平であること」という意見にまとまりました。平等や公平について深く考え、意見を交わし、発表をしました。この話し合いで、違う個性を持つ人たちと向き合うには、しっかり自分の考えをもつことが大切だと思いました。全国に友達ができるのはめったにないことだし、誰にでも経験できることではないと思います。今回、このような貴重な体験をさせてくれた家族や、企画してくださったたくさんの方々感謝します。そして、どんな出会いも大切にしていきたいです。



那須塩原市立三島中学校 3年 保莉 希空



国内研修事業に参加して



沖縄研修に参加した五日間、たくさんの人との出会いや沖縄ならではの自然や文化に触れ、自分を成長

させることができた実感しています。

活動の中で一番心に残っているのは、新垣徹さんが継承に取り組んでいる沖縄文化の一つ、慶良間太鼓です。目の前で演奏を聴いた時の迫力や、全力で文化を楽しむ慶良間太鼓同志会の皆さんの姿に強く心を打たれました。講話の中で最も心に響いたのは「地域の魅力を感じ、地域とともに成長する」



という、沖縄を心から愛する新垣さんの熱い思いです。ゼロから生み出した慶良間太鼓という伝統文化を、後世へ継承しようと務める

新垣さんの思いに触れ、私自身も自分の住む地域や身近なところに目を向けて、小さな気付きから変えていくことの大切さを学ぶことができました。

この研修を通して、協力や積極的なチャレンジの大切さも改めて

感じました。私の班では「協力して楽しむ五日間」という目標を立てて活動に取り組みました。火起こしや国際交流プログラムでの発表を始めとする様々な場面で、「協力」することを忘れずに全員で取り組み、成功した喜びを全員で分かち合うことができました。チャレンジでは苦手な発表にも積極的に取り組み、自分自身を大きく成長させることができました。これからの生活の中で、協力そしてチャレンジが必要となってくる場面は何度もあると思いますが、この研修を通して感じた思いを忘れずにこれからの活動に励んでいきたいです。



那須町立那須中学校 3年 平山 宗一郎